



発行所
〒107-0052
東京都港区赤坂
7丁目5番38号
公益社団法人
日本PTA全国協議会
発行人 寺本 充
電話 03(5545)7151
FAX 03(5545)7152
ホームページアドレス
http://www.nippon-pta.or.jp/

綱領

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗
教に偏ることなく、小学校及び中学校にお
けるPTA活動を通過して我が国における
社会教育及び家庭教育の充実に努めると
もに、家庭、学校、地域の連携を深め、こ
どもたちの健全育成と福祉の増進を図り、
もって社会の発展に寄与する。

主な内容

- 1面
 - いじめ防止対策
 - 子どもたちの悩み解決のために
- 2面・3面
 - 心のきずな61教育支援基金
- 4面
 - 東日本大震災追悼式典
 - 広報紙コンクール募集要項
- 5面
 - 歌手木山裕策氏講演
- 6面
 - 平成28年度調査報告
- 7面
 - 三行詩募集
- 8面
 - 全国研究大会
 - PTA書籍案内

文部科学省「いじめ防止対策協議会」での検討内容について

「いじめ問題」が社会問題化する中、「いじめを冠した初の法律「いじめ防止対策推進法」が制定され、3年が経過した。文科省は有識者会議を設置して、その成果などの検証、法の施行状況に関する議論のとりまとめを行っている。「いじめ」をめぐる議論は、残念ながらことごとく問題の解決には至っておらず、全国調査に見られるように各都道府県の間にも「いじめ認知」にはばらつきが生じている状態だ。その一方で、子の教育の第一義的責任は保護者であり、日本PTAでも継続的に会員と共に意見を交流しながら、有効な対策を講じて、実践していく。

平成25年2月、教育再生実行会議第一次提言において「社会総がかりでいじめに對峙していくための基本的な理念や体制を整備する法律の制定が必要」とされ、平成25年6月21日「いじめ防止対策推進法」(6月28日公布、9月28日施行)が成立しました。いじめ防止対策協議会は「いじめの防止等のための基本的な方針」(平成25年10月11日文科科学大臣決定)に基づいて、学校関係者や各種職能団体等の関係団体から有識者が参画し、いじめ防止対策推進法に基づく取組状況の把握と検証を的確に行い、いじめの問題等に関して、関係者間の連携をより強化し実効的な対策を講じるために設置されました。28年度は8回開催されており、前年の4回開催

ら「認知件数」に変更されていること。平成25年のいじめ防止対策推進法の定義では、「児童等に対する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」としています。

いじめ防止対策協議会では、いじめ防止対策推進法の施行状況に関する議論のとりまとめ等を行っています。例えば、上述したように定義の変遷もあるなか「発生件数」は「認知件数」と変更されており、「いじめの認知」の現状と課題として「いじめの認知件数」に係る都道府県格差が約30倍(平成27年度に最も多きが京都府、最少が佐賀県)もあります。

このように、法の整備と「いじめの定義」が変わっている中において「認知件数」に開きがあることをどのようには正すのか、対応の方向性など議論されています。

いじめ防止対策協議会では、いじめ防止対策推進法の施行状況に関する議論のとりまとめ等を行っています。例えば、上述したように定義の変遷もあるなか「発生件数」は「認知件数」と変更されており、「いじめの認知」の現状と課題として「いじめの認知件数」に係る都道府県格差が約30倍(平成27年度に最も多きが京都府、最少が佐賀県)もあります。

子どもたちの悩み解決のために「教育相談等に関する調査研究協力者会議」から

昨日、いじめによる悲惨な事件や自死、貧困、格差が社会問題となつていきました。家庭や学校、地域において児童生徒を健全に育成する取り組みは盛んに行われていますが、事案への対応を誤ると、事態はさらに深刻化しかねません。このような環境にある児童生徒に対するセーフティネット対策を講じるのも社会の役割です。

しかしながら悩みや困りごとを相談できる環境は、現代社会では必ずしも十分整備されているとは言えず、特に学校現場では相談体制整備の必要性が叫ばれているが現状でうに進んでいないのが現状です。

27年12月、文部科学省初等中等局長の諮問機関として、有識者による「教育相談等に関する調査研究協力者会議」が設置されました。そして1年余の議論の末、29年1月に「児童生徒の教育相談の充実について」学校の教育力を高める組織的な教育相談体制づくり」と題した報告書がまとまりました。

詳細な内容は文部科学省のホームページに掲載されていますのでご参照いただければと思います。協力者会議の全体会やワーキンググループでの議論では、主に児童生徒の相談を受けるスクールカウンセラー(以下、SC)とスクールソーシャルワーカー(以下、SSW)は、教員にはない高度な専門性を有しているものの、まだまだ学校への配置数が少ない。定期的に学校を巡回する方式でも巡回数に限界がある、家庭や学校で認知度や対応に温度差があるなど、十分な相談体制になつていないとはいえないのが現状との意見が出されました。

これを踏まえ報告書では、SC、SSWの専門性や外部性の担保、また学校内での立場を明確にしたほか、守秘義務の厳格化、事案の関係機関との連携、さらには教育委員会の支援体制のあり方などを提起。その上で、事案が発生した場合の措置として学校内や関係機関が一つのチームとして連携することで解決に向けて情報を共有するほか、教育委員会においては、スーパーバイザーの役割を果たす部署や人員を確保して連携すること、各教育委員会においては、最低限盛り込む、もしくは盛り込むことが望ましい事項について指針を設ける際に参考となるガイドラインも付加するなど、一歩踏み込んだ提言を盛り込みました。

文部科学省はこの報告書をもとに今後の教育相談体制のさらなる充実にも、施策を講じていくことになっていきます。

「残念ながら日本ではこのような政策は導入されておらず、断熱性能が悪く、冬寒く、夏暑く、カビ臭い住宅が依然として多く、毎年冬に30万人以上の方々が循環器系、呼吸器系の疾患で亡くなっています。冷気は万病の元! 低体温は病気の元凶。体温が1℃下がると免疫力は30%低下し、体温が1℃上がると免疫力は50%〜60%もアップする」と言われています。また基礎代謝も約12%アップするとも言われ、ダイエット効果が自然に得られます。暖かい暮らしで冷え知らずに、心も体も健康な毎日を家族と過ごしたいものですね。

Think Health Think Home

きざし

家族の健康は 住まいから! 住まいと健康は非常に深い関係があります。健康に暮らすには住まいはとても大切。そのなかでも「室内の空気環境」が重要です。空気を決める要素は3つ。温度・湿度・清潔さです。

1. 温度: 室内・室間の温度差をできる限り少なくする。また1日の温度変化を少なくする。
2. 湿度: 快適の鍵を握る湿度は、高すぎても低すぎてもだめ。過ごしやすい湿度は【45〜60%】。
3. 清潔さ: 換気・集塵・除菌で空気の質を向上する。英国では、室温が18℃未満では血圧が上がり心筋梗塞や脳卒中に、16℃未満では呼吸器系疾患への抵抗力が低下し、5℃では低体温症を発症する危険が大きいとして、冬の室温を18℃以上とするよう推奨しています。

◆心のきずな61教育支援基金◆

互いのふるさとを知る交流

福島県PTA連合会 会長 小林 利明

今年度4回目を迎えた「福島・水俣交流事業」は、水俣市の中学生を招き、福島県の置かれた状況を見聞してもらい、福島県の中学生との研修・体験活動を行いました。

初日は開校式と歓迎夕食会を開催、2日目は三春町に新設された「環境創造センター」にて放射線の正しい理解を図ってもらうための学習、東日本大震災の影響で今でも仮設校舎で開校している富岡町立小中学校を訪問しました。3日目は日本PTA全国協議会の寺本会長にも参加をいただき、JAふくしま未来では食の安全に関するモニタリング検査を見学し、桃狩りを体験しながら果樹農家の方々の懇話といった活動が盛り込まれ、子どもたちは楽しく過ごすことができました。

もちろん子どもたちは3日間就寝まで熟議を重ね、主に環境問題や人権問題について語り合い、最終日にはアクション



プランとして立派に発表していました。環境破壊や風評被害、差別や偏見などさまざまな共通点がありスタートした事業が、未来を担う子どもたちにとって、お互いのふるさとをよく知り、見つめ直し、どう生きていくのか、自分の住んでいる地域をどうしていきたいのかを考える貴重な体験となりました。

最後に、本事業に対し「日本PTA心のきずな61教育支援基金」や「子どもがふみだす福島復興体験心援支援助事業」及び「福島からの発信・活動等支援基金」より多くの支援金をいただき実施できたことに、心より感謝と御礼を申し上げます。

気仙沼生徒児童を迎えて

秋田県PTA連合会 会長 野崎 一

秋田県PTA連合会では「心のきずな育成事業」交流を未来につなげよう」と題して気仙沼市から児童生徒をご招待し、秋田の子どもたちとの交流事業を行いました。

秋田市内の会長、副会長さんたちが先頭に立ち、校長先生、教育委員会からも多大な協力を得て、総勢160名の子どもたちをほぼ同数の大人達が見守りながら、竿燈や郷土料理などの秋田の文化に触れ、ともに語り合い、ともに手をとって、2泊3日を楽しましました。

子どもたちが誰一人欠ける事なく、無事に解団式を笑顔と充実感で迎えられたことは、関わっていただいた大人のみならず子どもたちへの思いが、同じ目標に向かい全員が強くなることへの意識を持っていただければ結果だったと感じています。



い中、偶然にも縁があり、気仙沼の子供たちをお招きし交流事業をした経緯がありました。それが始まりとなり、子供も大人もつながりを深めてきました。

5年を経過し、あの頃とは違った意味で交流をした今回の事業は、震災を風化させない、友情の大切さ、生きる力を確かめ合った事業になったと思います。

秋田県PTA連合会では今後もこのつながりを大切に東北各地との交流を続けていきたいと思えます。

りくぜんたかたかなざわ交換日記

石川県PTA連合会 会長 北川 和也

事業の目的は、交流を通して被災地の復興を支援するとともに、被災地から自分たち自身も学ぶことです。平成24年から継続して実施しています。8月6日～7日、第1団として、小中学生及び保護者22名が陸前高田市を訪問しました。

そこで私たちは地元に住む獅子舞を披露しました。金沢の獅子舞は、大きくて迫力があります。また邪気をはらい幸せを招く行事として伝わっています。子どもたちも思いを込めて演じました。

陸前高田の伝統行事は「うごく七夕」です。豪華絢爛な山車は見事でした。ところがその山車も津波で流されてしまい、人々の熱意と努力で復活させたという経緯があります。そんなエピソードを聞き、熱い心を共有した両地区の子どもたちがいっしょになって七夕の山車を曳きました。長くて丈夫な曳き綱が、両地区



の絆の深まりを感じさせてくれました。

11月5日～6日、第2団として、小中学生及び保護者12名が再び陸前高田市を訪問しました。

「復興支援料理」は子どもたちの口に合わないようでしたが、それも支援だと知ると、頑張るって食べました。また現地の方から被災体験をお聞きし、大地震の際に自分の身を守ることの難しさや大切さを学びました。

第5回キッズデザイン賞
キッズコンシューマーサポート部門
審査委員長特別賞受賞

おこづかい教育 出前教室 好評開催中!

新年度“家庭教育学級”向け開催受付中!

日本PTA全国協議会の推薦図書に基づき、こどもの「お金力」を高め、賢く生きる力を養う、家庭での「おこづかい教育」の秘訣をそっとお教えするセミナーです。

こんなところで開催頂いています!

- PTAの家庭教育学級として
- 小学校・幼稚園の保護者向け公開行事として
- 育児・子育てサークルでの講習会として

※講師代・テキスト代は無料です。
※プログラム中に保険商品のご案内やセールスは一切ありません。

PTA行事等に是非ご活用ください!

↓こちらのWEBサイトより、開催をお申し込み頂けます↓

おこづかい教育出前教室WEBサイト <http://okozkai.gib-life.co.jp/>
URL <http://okozkai.gib-life.co.jp/>
Email Mail.okozkai@gib-life.co.jp
「出前教室」に関するお問合せ先
ジブラルタ生命「おこづかい教育出前教室」事務局 (TEL) 03-5501-6114

生命保険初!
ジブラルタ生命がお届けする
ベルマーク付き保険

2004年に生命保険会社として初めてベルマーク運動に参加したジブラルタ生命のベルマーク付き生命保険は、生命保険商品で初めての日本PTA全国協議会の推薦商品になりました。

新規ご契約
1件につき
100点

ベルマーク番号15
見本
100点

Gibraltar
ジブラルタ生命

あふれる愛顔(えがお)でつながろう

愛媛県PTA連合会 会長 橋川 隆至

多くの方々のご賛同と協力・ご支援を得て、32名の中学生と共に3泊4日の研修事業を無事に終えることができました。

今回の研修事業は、岩手(陸前高田/中尊寺)・宮城(閉上)・福島(南相馬)の3県に渡って現地を訪問し、子どもたちの目で被災地の現状を確認してもらい、そして現地の方々と交流することによって、自分の目で見て、耳で聞き、心で感じて、子どもたちの感性で被災地の現状を理解してもらったことを第一の目的としました。

3泊4日という限られた時間での研修は、子どもたちにとって、とてもハードだったと思います。そのようなかでも、「閉上の記憶」館館長さんや陸前高田市長さんをはじめとする講話、復興工事の現場や奇跡の一本松の見学、そ



して、仮設住宅の方々との交流会や鹿島中学校訪問と、研修を重ねるたびに、子どもたちの目の輝きは増し、態度も大きく変わってきました。子どもたちは、大人である我々が考える以上、感じ・悩み・考え、自分たちで何らかの答えを得ようと頑張っています。成長を感じるとともに、頼もしさも感じました。

最後にありますが、今回の事業に関しまして、日本PTA心のきずな61教育支援基金からご支援を、また、愛媛県教育委員会、愛媛県小中学校長会からはご後援をいただきました。感謝申し上げます。

平成28年8月2日～5日
開催場所 岩手県、宮城県、福島県
出席者 愛媛県内在住の中学生 32名
PTA・医療関係者等 12名

被災地校を支援

一般社団法人岩手県PTA連合会 会長 五十嵐 のぶ代

岩手県PTA連合会では、この支援事業名を『きずな心援支援金』事業として、東日本震災の被災地の復興支援を目的とし、支援内容を次の3点にして県内の各小中学校に周知して取り組んでいます。

1. 被災地校における学校行事、児童会活動、生徒会活動、部活動などの教育支援
(例) 交流会費、部活動等のバス代、用具代 等

2. 被災地校における地域活動、社会教育活動などの関

◆大船渡市立大船渡中学校
開催日時 平成28年9月27日
支援額 10万円
用途 太鼓用のバチ、扇子、衣装代等
実践 学校教育の一つで、地域の伝統芸能に携わる生徒の発表を文化祭で行った。



連事業に対する教育支援
3. 県内の小中学校の震災関連教育(防災教育、復興教育など)に対する教育支援
(例) 講演会費用及び講師代等

事例は、昨年の9月以降に支援をしました岩手県内の被災地校2校の支援例を紹介いたします。

◆久慈市立小袖小学校
開催日時 平成28年11月26日
支援額 6万円
用途 スーパーホッケーの購入費用
実践 参観日の日、全校児童と保護者によるニュースポーツを体験した。



中学生九州サミットINみなまた

熊本県PTA連合会 会長 中村 慶治

九州各県と福島県の中学生が水俣市に集まり、各地域が抱える課題を熟議し合うと同時に、生まれ育った故郷の素晴らしさを再認識する場として「中学生九州サミットINみなまた」を企画しました。

福岡県・沖縄県・長崎県・佐賀県・北九州市・宮崎県・熊本県・鹿児島県・水俣市の生徒たちは、それぞれの地域で抱える課題や現在の状況をありのままに情報交換し、お互いの意見をぶつけ合い、郷土発展のために何ができるのか具体的な自らのアクションプラン作成に向けて真剣に熟議を繰り返してくれました。

東日本震災より6年近く経つ福島県の様子や、公式確認から60年目を迎えた水俣市の状況、沖縄の基地問題、川内市・玄海町の原発再稼働問題、長崎市の平和学習、北九州市の環境学習、熊本地震の体験など生徒自身が経験したことや周りの大人たちからもたらされる情報等について話

東日本大震災 追悼式典

平成28年度東日本大震災追悼復興祈念式

公益社団法人日本PTA全国協議会 常務理事 齋藤 芳尚

会場：福島駅西口複合施設
コラッセふくしま4階 多目的ホール
参加者：遺族代表、県知事、来賓等を含め約300名



- 式次第
1. 献唱
 2. 開式の辞
 3. 国歌斉唱
 4. 黙とう
 5. 内閣総理大臣式辞
 6. 文仁親王殿下のおことば
 7. 式辞
 8. 追悼の辞
 9. ご遺族代表のおことば
 10. 代表者献花
 11. 献唱
 12. 閉式の辞
- 3月11日福島県にて行われた『東日本大震災追悼復興祈念式』に寺本会長、福島県PTA連合会小林会長とともに参加されました。福島県南相馬市で活動する中高生合唱団MJCアン



なとり・閉上追悼イベント

石川県PTA連合会 事務局長 堅畑 政行

3月11日、宮城県名取市では今年も「なとり・閉上追悼イベント」が開催されました。



「絵灯籠大作戦」と名付け、県内から募集した絵を送るとともに、現地ボランティアに参加しています。合言葉は「心を寄せる支援活動」です。絵を描いている間は被災地の方々に思いを共有し、少しでも風化を押しとどめることができます。心のこもった絵が、今年も千枚以上集まりました。そして6名の会員が現地へ赴き、イベントのお手伝いを行いました。絵灯籠の光の道を眺めると、言葉で表現できない感情が沸き上がり、身を射す寒さはあの日のつらい出来事を蘇らせてくれました。



優秀広報紙コンクール 募集要項

- 1 趣旨
日本PTA全国協議会傘下の公立小・中学校で発行するPTA広報紙作品を広く募集し、優秀作品を表彰・公開することにより、PTA広報活動の活性化を促進し、PTA活動の一助となることを目的とする。
- 2 主催
公益社団法人日本PTA全国協議会 協賛
日本教育新聞社、教育家家庭新聞社 後援
- 3 応募の対象
平成28年4月から平成29年3月までに発行されたすべての号を1部送付。
原則として、2回以上発行されたものに限り、現状のままで送付。複製やコピーは不可、CD不可、補強のための表紙などは付けられないこと。
- 4 募集期間
①各単位PTAは、平成29年5月31日(水)までに、各地方協議会に送付。
②各地方協議会は、第1次審査を終えた作品を、平成29年6月30日(金)までに、公益社団法人日本PTA全国協議会事務局へ送付。
- 5 審査の流れ
①各地方協議会で第1次審査を行い小学校6点以内、中学校4点以内を選ぶこと。
②各地方協議会は第1次審査した作品を公益社団法人日本PTA全国協議会事務局に送付する。
③公益社団法人日本PTA全国協議会は第1次審査で選ばれた作品について第2次、第3次、最終審査の3回の審査を行う。
- 6 審査基準
PTA広報紙のもつ目的・使命・記事の内容・編集方法・レイアウト・
- 7 審査委員
文部科学省、学識経験者、公益社団法人日本PTA全国協議会、日本教育新聞社、教育家家庭新聞社
- 8 優秀作品の賞
文部科学大臣賞(最優秀賞・小/中学校各1点)、公益社団法人日本PTA全国協議会会長賞、日本教育新聞社長賞、教育家家庭新聞社長賞、特別賞(企画賞・写真賞・レイアウト賞)、佳作
- 9 表彰式
表彰式は、平成29年度 年次表彰式で行う予定。【平成29年11月17日(金)ホテルニューオータニ】
- 10 その他
・応募作品は返却しない。
・入賞作品は、日本PTA機関紙及び日本教育新聞に掲載する予定。
・受賞作品については「平成29年度版優秀広報紙集」として発刊する予定。

「PTA防災実践事例集」

自然災害からの学びと教訓・防災への取り組み
(公社)日本PTA全国協議会では、毎年大きな災害が発生し、防災の重要性が日々増している現状を鑑み、標記の事例集を出版することとなりました。本書の刊行は「過去に起きた様々な自然災害から教訓を学び、今後起こりうる災害から子どもを守るための防災活動」の一助にしたいと、過去の災害を主たる目的とするものです。過去の災害を体験された多くの方々から、被災経験から学んだこと、次代に伝えたい想いなどを寄稿頂きました。また、全国で実施されている先進的なPTAの防災活動の事例を掲載しています。是非、多くの方の手にとって頂き、



PTAのみならず地域ぐるみで活用ください。
※表紙画像はイメージです。

AIU損害保険株式会社は、いじめ防止標語コンテストに協賛しています。



みんなで、考えよう。みんなに、伝えよう。

第10回「いじめ防止標語コンテスト」
たくさんのご応募、ありがとうございました。
応募総数 449,611 作品 / 参加学校数 2,217 校

文部科学大臣賞 / 小学生の部
ぼくはわるいことばと知らずにわらった。
知らずに人をきざづけることもあるとわかった。

文部科学大臣賞 / 中学生の部
「いじめゼロ」
標語で終わるな
実行へ

平成29年3月27日に東京にて表彰式が行われました。ホームページにて全国賞受賞作品を発表しています。
www.ijime-boushi.com
いじめ防止標語コンテスト実行委員会事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷 1-33-12-201 (株)ピラミッド内
主催：いじめ防止標語コンテスト実行委員会 / 後援：文部科学省 他 / 協賛：AIU損害保険株式会社

あきらめない姿を子どもにも見せ歌い続ける

歌手 木山 裕策氏

2月22日に開催された協議
会代表者に、歌手の木山裕
策氏をご講演されました。

木山裕策氏は36歳の時に甲
状腺に腫瘍があることが判明
し、悪性の疑いから左側の甲
状腺を全摘出されます。その
際に「手術後に声が出なくな
る危険があること」を告げら
れ、「もし無事に手術が終わ
り、声が出るように回復すれ
ば、歌手という夢へ挑戦しよ
う」と決意されます。

奇跡的に声は残りの、オーディ
ション番組を経て「home」
でメジャーデビュー、紅白出
場を果たします。

子供達には「大人になると
良いことがあるよ」という木山
夫婦の子育てお信条を胸に、
最後まであきらめない姿を子
供達に見せようとする木山は
会社員として働きながら、歌
い続けています。

専業主夫として子育てに専
念していた時期もあり、家庭
教育や病氣・仕事との向き合っ
た経験などを伺いました。

○仕事も子育ても順調な時期
に36歳という若さで突然病



木山 裕策氏

OFFICIAL WEBSITE
http://tearbridge.com/kiyama/index.php

気と向き合つというのは、
実際どのような葛藤があっ
たのかお伺いしてもいいで
すか？

【木山】皆さんそつだと思
いますが、自分だけは病気に
ならないと僕も思っていました。
まさか、36歳の人生一番忙
しい時に病気になるなんて、と。
病気がわかった時は、本当に
色々なものを恨みました。子
どもが当時も入って、残業は
かりして、必死に働いている
こんな時期になぜと恨んでい
ました。僕がどんどんどんど
ん暗くなっていったら、性格
ですけれども、妻が逆に明る
くて大らかで、僕が暗くなっ
ていると凄く明るく茶化され
るんです。もし、最悪のこと
が起これたら、その時に考え
れば良いんじゃないの、とあ
まり取りあつてくれなかった
んです。逆にそこは凄く
救われましたね。一緒に悩ま
れるとどんどん暗くなってい
きますから。そのことは助け
られて何とか乗り越えられま
した。

○病氣から復帰してから

お仕事に対する考え方が変
わったとか。

【木山】当時会社で課長にな
りました。制作のデザイナーの
仕事をずっとやっていて、一
人で解決出来るし、一人で良
いものを作ればそれで給料が
上がる、どちらかというと自
分だけちゃんとやっていけば
良いと思っていた。そのタイ
ミングで100人位の仕事を
いきなり任されて自分のこと
だけやっていけば良いという
ことから、考え方を切り換え
ないといけない。面談を毎日
していてもひと月で終わらな
い位かかっている。そこで、
本当は相手にやって欲しいこ
とは沢山あるけれど、こんな
言い方をすると傷つくのでは
ないかと、遠回しに言つて上
手く伝わらなかつたりして、
凄く悩んでいた時期に病気に
なつた。

人間って不思議なもので明
日が無いかもしれない、もう時
間が無いかもしれないとなつ
たら、「今伝えなければいけ
ない」と思うようになったの
です。今までは、ストレート
に言つたら、相手が傷つくの
ではないかと思つていたので
すが、変に気を遣つてはちや
んと言つた方がコミュニケーション
が成立することも多い。
勿論気遣ひは必要だけれども、
「もしかしたら言われたくな
いことかもしれないけれども」
と云つて、「あなたはどつ思
いますか」と問う。そついう
コミュニケーションに変えら
る逆になんて上手いかわりに

なりました。

○仕事が上手くいかないと
思い悩んだ時は、今のお話
ですと「自分だけで何とか
しない」と思い過ぎた。

【木山】自分が全て「何とか
しない」と思つていたら、
ども、そんなことおこがまし
くて出来るわけがないんです
ね。だから自分が出来ないこ
とを如何に助けてもらうか、
そついうことを皆で決めてい
こうと、そついうやり方に決
めたら上手くいきました。

○仕事は自分一人でやって
いけるのではなくて皆で乗り越
えていくという。

【木山】そつ、皆で乗り越え
ていく。出口、目標、後ろが
決まっていることに対して、
どつやつたら立ち向かえるか
というのを、一人で決めるの
ではなく、勿論自分がまとめ
るから皆にアイデアを出して
欲しいという手法に変わると、
皆さんも主体性を持って考え
るようになります。自分もそ
のアイデアは思いつかなかつ
たよというのが出てくるし。
○主体性や当事者意識とい
うことを我々PTAもよく言
うのですけれども、PTA
活動にも非常に通じるなど
思います。活動をやる中で、
仕事量が非常に多かつたり
しますが、会長一人で抱え
られない業務量などに悩み
があると思つてはくれれば
も、木山さんの観点からア
ドバイス。

てをしながらよく思つたのが、
ある特定の人に凄く負荷がか
かっているようなイメージが
未だ多いと思います。今後は
普通に仕事をされている方も
PTAの活動に参加される率
が上がつていくと思つてす
ね。それは凄く良いことだと
思います。なので、分担出来
ることはきちんと、例えば家
で出来ることとかは、少しネッ
トワークが普及してきている
ので、ネットでチャットを含
めて手分けしてやるようにな
れば、随分一人一人の負担が
減る分、上手くできるのでは
ないでしょうか。

○子育てで大変だったこと、
家庭教育で一番注意したこ
とは。

【木山】「これ！」というも
のは無いのですが、出来る限
り子どもが今、胸の中に溜め
込んでいるものはないかな、
ということだけはいつも注意
していました。何でもかんで
も喋るといふことは無理です
けれども、ちょっと暗い顔を
していたり、何か悩んでいた
りすると顔にやっぱり出るの
で、そついう時は出来る限り
言えるような雰囲気作りをし
ています。例えば夫婦仲が悪
かつたりとか、他の色々な問
題が多かつたりすると、そつ
いことを子どもは言い辛い
と思うのです。

○環境作り？

【木山】はい、そつですね。
○子ども達に望むことは？

【木山】勉強することを自分
で決めてやるのだったら良い
ですが、無理やりさせられて
やる位だったらそんなに
必要はないのかな。ただ、
自分で勉強しないならしない
で、自分は何が好きで大人に

なつて何を仕事にして、どん
な人生を歩みたいのかは、出
来れば学生時代から考えて、
自分のことは自分で考えて欲
しいと思つてつと子育てをし
てきました。

あれしろ、これしろとい
う指示は一切出さないとす
が、ただ、質問をします。そ
うすると自分で考える。考
えたら何でも相談に乗るよ
うなスタンスはいつも持
っている。先ずは一人で考
えて欲しい。アドバイスや
意見としては幾つかあるけ
ども、ただ指示が欲しい子
どもにはなつて欲しい。や
る程度距離を持って自分
一人で考える力を養つて
欲しい。そついうのはずつ
と思っています。

○今、日本の子どもは「い
じめ」「貧困」「虐待」色
々な問題があるんですけれ
ども、全ての子ども達に木
山さんからメッセージを
いただけば。

【木山】そつですね、ニ
ューズを見る度に心が痛くなる
のですが、基本的には子ども
で自分で考えて欲しいと思
っています。いじめに関して
子ども達だけで解決出来る
問題ではないと思つたので、
今いる世界だけが全くな
いといふことを伝えたい。僕
はずつと、勉強勉強と言わ
れて、勉強出来ない世界なん
て考えられない環境で育つ
たんですよ。だからこそ、勉
強しなかつた時の怖さみたい
のが凄くありました。ただ、
実際、勉強とあまり関係無
い所で仕事をさせていただけ
で、そついうことは勿論あ
りませんが、ただ昔想像も
出来なかつた楽しいことも一杯ある

友達でも髪を剃り始めたり眉
毛を剃り始めたら、凄く怒ら
れたりする「地域で子育て」
する雰囲気は当時があったん
です。それが今、東京は希薄
になつてきているので、そ
ういう意味では学校のお父さん
お母さんの繋がりでも良いで
すし色々な人が見えているよ
う、良い意味でも悪い意味でも
「ちゃんと見ているからね」
といふことが子ども達に伝
わると、それが安心感にも繋
がるし逃げ場になるのかなと思
います。それは昨日、今日で
出来ることではないと思つ
たんですよ。だんだん、僕も歳
をとつてきて、子どもの友達に
凄く話しかけるようになりま
した。昔はそんなこと出来な
かつたけど、子ども達が10年
後、20年後に良い大人にな
るようになつてほしいです。

子どもたちに最適な品質を
シボニカ学習帳
ぼくの、わたしの、ともだちノート
JAPONICA FRIEND
ショウワノート

平成28年度

「マス・メディアに関する調査」

結果を読み解く

千葉敬愛短期大学 学長 明石 要一

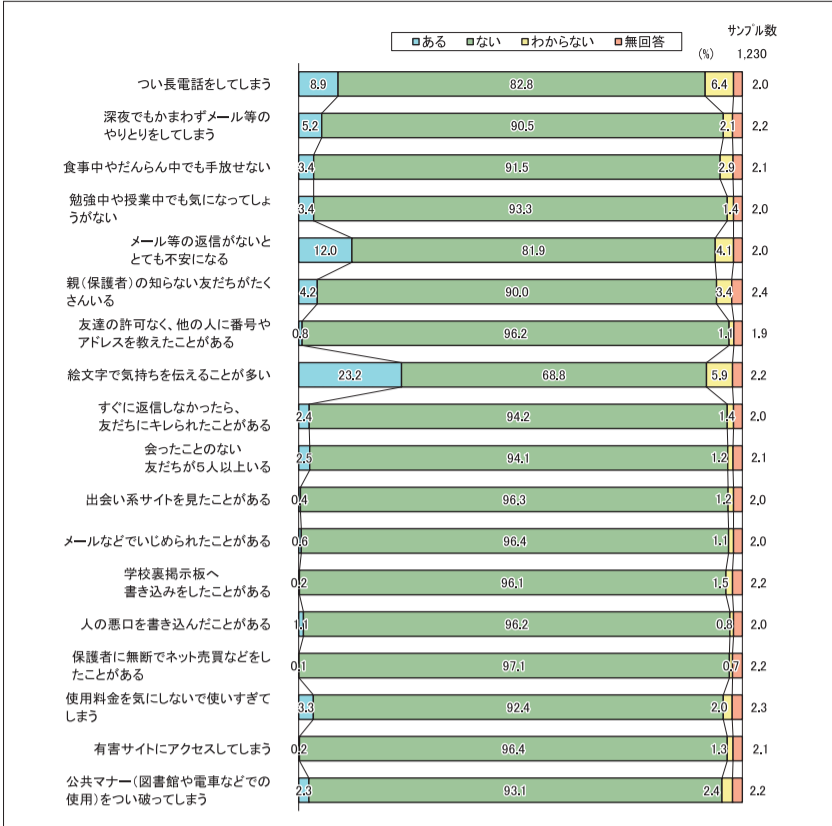
日本PTAは子どもとメディアに関する意識調査を行って... 平成14年度から「テレビメディア・インターネット等社会環境についての意識調査」として実施し、平成18年度からは子どもを取り巻く社会環境の変化に対応するため「子どもとメディアに関する意識調査」を実施している。

中学生のスマホの所持率は半数に達する。小学生は安全確保だが、中学生は「友人との連絡」と「安全確保」となる。ところが、このスマホの利用時間が増えている。「4時間以上」の利用者が休日でも4人に1人いるのである。平日でも12・3%と一割を超える。

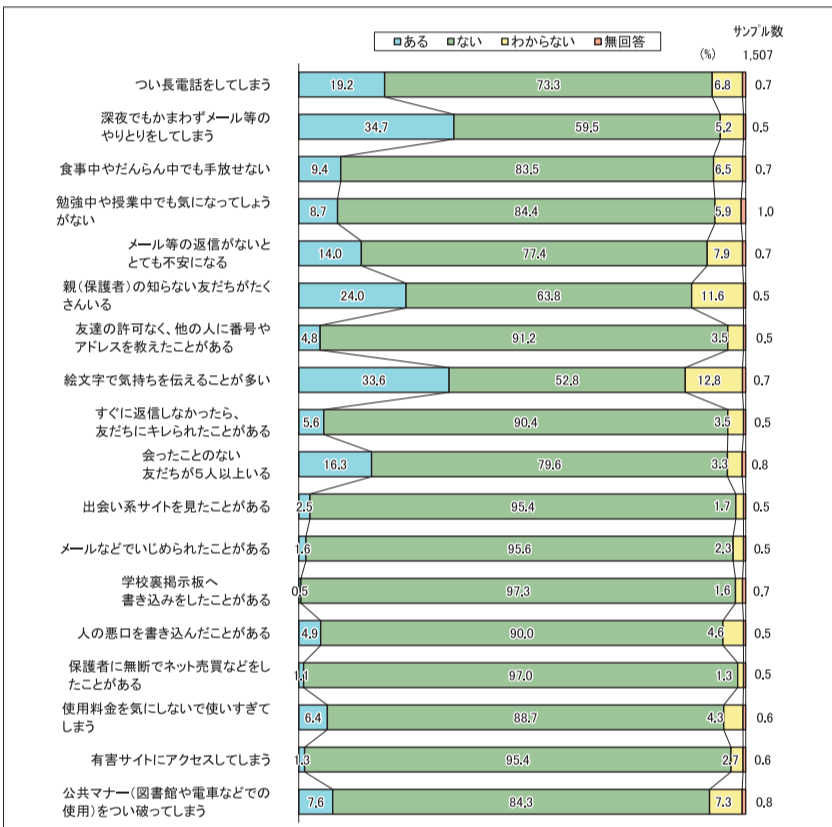
スマホは通話以外の多機能で使っている。メールやカメラ、それから音楽のダウンロード、アラームなどの機能を活用している。そしてインターネットでは検索は当然としてゲームをし、ホームページも見ています。

親たちはインターネット利用では注意を払っている。様々なしつけはしている。パスワードを教えない、個人情報教えない、迷惑メールは返信しない、知らない人の添付ファイルは開かないなどは八割近い人が注意していると答えている。

【スマートフォン・携帯電話を使用する上で起こること<小学5年生>】



【スマートフォン・携帯電話を使用する上で起こること<中学2年生>】



「平成28年度教育に関する保護者の意識調査」

結果の解説

文教大学 教授 松田 素行

本調査の「調査目的」には、調査結果が、二つの場「①今後の学校教育・家庭教育の在り方を考えること」、「②PTA活動を考える上での資料とする」として活用されることを想定していることが示され、その内容は、1. 学校教育について、2. 家庭と学校の関係について、3. 家庭教育について、4. その他、の4部構成となっていることが示されています。

教育基本法は「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものである」として、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。」(同法第10条)と家庭教育を規定しています。

「〇〇市家庭教育〇〇箇条」などを制定する取組を始める自治体が現れてきています。(2)実態

問16では、「家庭で子どもに十分「しつけ」をしない・できない保護者が増えている」との声に対してどのように感じているか聞いており、78・9%(前年度80・9%)の保護者が「そう感じている」と回答しています。

「〇〇市家庭教育〇〇箇条」などを制定する取組を始める自治体が現れてきています。(2)実態

問16では、「家庭で子どもに十分「しつけ」をしない・できない保護者が増えている」との声に対してどのように感じているか聞いており、78・9%(前年度80・9%)の保護者が「そう感じている」と回答しています。

「〇〇市家庭教育〇〇箇条」などを制定する取組を始める自治体が現れてきています。(2)実態

問16では、「家庭で子どもに十分「しつけ」をしない・できない保護者が増えている」との声に対してどのように感じているか聞いており、78・9%(前年度80・9%)の保護者が「そう感じている」と回答しています。

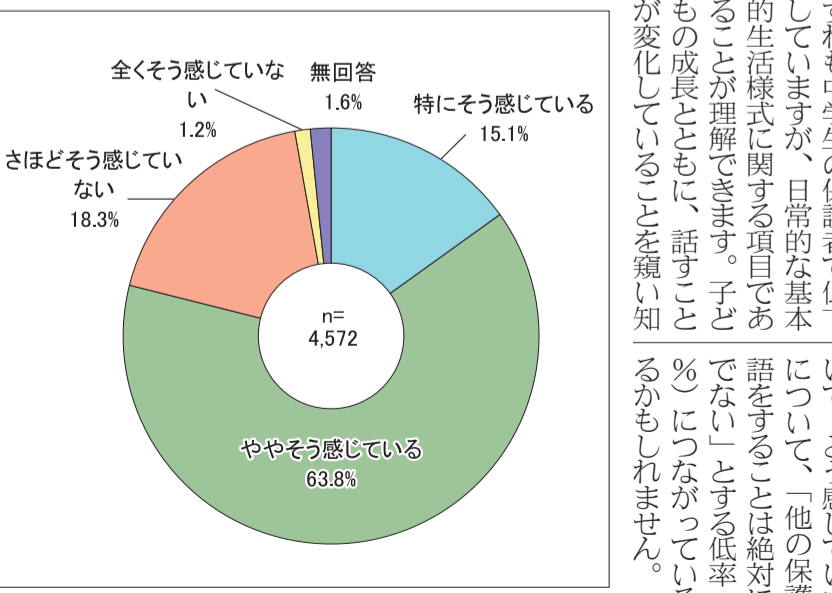
「〇〇市家庭教育〇〇箇条」などを制定する取組を始める自治体が現れてきています。(2)実態

問16では、「家庭で子どもに十分「しつけ」をしない・できない保護者が増えている」との声に対してどのように感じているか聞いており、78・9%(前年度80・9%)の保護者が「そう感じている」と回答しています。

「〇〇市家庭教育〇〇箇条」などを制定する取組を始める自治体が現れてきています。(2)実態

問16では、「家庭で子どもに十分「しつけ」をしない・できない保護者が増えている」との声に対してどのように感じているか聞いており、78・9%(前年度80・9%)の保護者が「そう感じている」と回答しています。

「〇〇市家庭教育〇〇箇条」などを制定する取組を始める自治体が現れてきています。(2)実態



【家庭で子どもに十分「しつけ」をしない保護者が増えているという声について】<保護者全体>

いることとして「挨拶や返事をする事(73・2%)」、「約束を守る(67・2%)」、「人に迷惑をかけない、嫌がる事をしない(66・7%)」などを挙げています。「いつも言っている」ことを経年で見ると、挨拶や返事をするよう言う割合が漸減傾向にあり、社会のルールを守るよう言っている割合が増加の傾向にあります。

その結果、設問18「授業参観における保護者の行動について、どう感じていますか」について、「他の保護者と私語をすることは絶対にすべきでない」とする低率(20・2%)につながっていると推測されるかもしれません。

「〇〇市家庭教育〇〇箇条」などを制定する取組を始める自治体が現れてきています。(2)実態

楽しい子育て全国キャンペーン～家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～

平成29年度 三行詩募集



三行詩募集実施要綱

1 趣旨
都市化や核家族化、少子化など、子育てや家庭教育を支える地域の環境が変化中、改めて家族の会話やコミュニケーションから育まれるきずなや家庭のルール、「早寝早起朝ごはん」といった子どもたちの基本的な生活習慣づくりなど、家庭教育の大切さや命の大切さについて、親子や家族で話し合ったり一緒に取り組むことを社会全体で呼び掛けていくため、これらをテーマとする三行詩を募集し、表彰を行う。

2 主催
公益社団法人日本PTA全国協議会
後援
文部科学省、厚生労働省（予定）

3 概要
募集対象…小学生・中学生の子どもと保護者、教職員等

募集内容…「家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」に関する三行詩・三行詩とは、三行程度の短文の意味合いであり、必ずしも三行である必要はなく、俳句のようなものでも構わない。
・家族の会話やコミュニケーションから育まれるきずなや家庭のルール、子どもたちの基本的な生活習慣づくりなどの家庭教育の大切さや命の大切さをテーマとして短文で表現したものであること。
・家庭での日常の出来事や、学校や地域でのエピソードをもとに、家族で話し合った上記テーマに沿った作品であること。

募集方法
①公益社団法人日本PTA全国協議会のホームページに掲載
②地方協議会を通じて、各小学校、中学校PTA等に募集
③教育委員会等を通じて、その他の各小学校、中学校等に募集

募集期間…平成29年5月8日(月)～平成29年6月19日(月)

応募方法…募集リーフレットの裏面にある「応募用紙」又は、公益社団法人日本PTA全国協議会ホームページに掲載する所定の「応募用紙」あるいは、A4サイズの用紙に、氏名(かぎがな)、年齢(学年)、住所、電話番号、学校名等、三行詩を記入の上、以下の応募先に提出する。

応募先…
(1)応募者及び応募者の子どもが公立学校に在籍する場合
子どもが在籍する学校等へ提出。(各学校PTAが取りまとめをし、各所属の都道府県・郡・市・指定都市のPTA連合会・協議会等

へ提出する。)
(2)その他の場合(私立学校や国立大学法人附属学校に在籍する場合等)
各学校PTA等で取りまとめをし、公益社団法人日本PTA全国協議会へ提出。

選考方法…第一次選考
(1)応募者及び応募者の子どもが公立学校に在籍する場合地方協議会において、応募のあった作品の選考を行い、小学生、中学生、一般の各部それぞれ5点を上限として選出し、7月21日(金曜日)までに公益社団法人日本PTA全国協議会に推薦する。

(2)その他の場合
各学校PTA等において、応募のあった作品の選考を行い、小学生、中学生、一般の各部それぞれ5点を上限として選出し、7月20日(木曜日)までに公益社団法人日本PTA全国協議会に推薦する。

審査の流れ…公益社団法人日本PTA全国協議会は、第1次選考で選ばれた作品について第2次・第3次審査を行い、ここで選定された作品より最終審査にて、文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞、公益社団法人日本PTA全国協議会会長賞、「早寝早起朝ごはん」全国協議会会長賞、佳作等の優秀作品を選定する。

発表・優秀作品は、選定後速やかに作品の応募者に通知するとともに、公益社団法人日本PTA全国協議会ホームページにて発表する。
表彰…表彰式は、平成29年12月23日(土)国立オリピック記念青少年総合センターにて行う予定。優秀作品には賞状を贈呈。

〈作品の活用等〉
・全ての優秀作品の著作権は、公益社団法人日本PTA全国協議会に帰属する。
・優秀作品については、公益社団法人日本PTA全国協議会作成の資料やパンフレット、各種イベント等における広報・啓発活動において幅広く活用予定。

〈問合せ先〉
(1)応募者及び応募者の子どもが公立学校に在籍する場合
在籍する学校PTA、又は在籍の都道府県・指定都市のPTA連合会・協議会
(2)その他の場合
公益社団法人日本PTA全国協議会事務局
東京都港区赤坂7-15-138
TEL:03(55445)7151
FAX:03(55445)7152

〈募集リーフレット掲載ホームページ〉
公益社団法人日本PTA全国協議会…
<http://www.nippon-pta.or.jp>

平成28年度 三行詩優秀作品表彰

平成28年度より、(公社)日本PTA全国協議会が単独主催となり、平成28年5月9日～平成28年6月20日に全国で広く募集を行った「三行詩」作品について、優秀作品が決定しました。9月7日に有識者により最終選考会が行われ、決定された優秀作品については、既に漫画家の青沼貴子先生による素晴らしいイラストを添えて、「29年度版ファミリーカレンダー」として多くのご家庭で親しまれています。

平成28年12月24日、「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩の表彰式が国立オリピック記念青少年総合センター国際会議室にて行われました。全国より寄せられた約10万7千通の中から33作品が受賞され、式典はその受賞者とご家族を招待して執り行いました。開催にあたっては、文部科学省、厚生労働省、早寝早起朝ごはん全国協議会等、関係各位からお祝いに駆けつけていただき、大変華やかに開催することができました。受賞者には壇上にてひとりひとり賞状が手渡され、嬉しそうに微笑む受賞者の皆さんの柔らかな表情が印象的でした。その笑顔を写真に納めるご家族からも笑顔がこぼれ、厳粛さともにあたたい雰囲気になりました。表彰終了後に、式典の二環



平成28年度「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩表彰式



としてアトラクションが行われ、歌手の弓削健介さんによるステージをお楽しみいただきました。

このキャンペーンを体現するよふな、家族の絆や命の大切さへの想いが込められた歌とメッセージの数々に、会場では目頭を押さえる様子も見受けられました。

表彰式に引き続き、同センター内のカフェにて祝賀会を行いました。クリスマスカラーのバルーンに飾られた明るい会場で、多くの受賞者ご家族と来賓の皆様に参加していただき受賞を喜び合いました。クリスマスソングを歌ったり、ジュースで乾杯してローストビーフやチキンを頬張ったりと賑やかに過ごしました。

日本PTA全国協議会単独主催となった本年は、日程調整や作品集カレンダーの編纂式典等、全てにおいて新たなスタートとなり、審査委員の皆様をはじめ多くの方々のご協力をいただきました。今後も当会の大切な活動としてより良い形に整えて参りたいと思います。引き続き皆様のご指導ご協力をお願い申し上げます。

29年度の実施について

平成29年度の三行詩募集の要綱は、2月開催の協議会代表者会にて発表されました。28年度と同様に、5月から6月にかけて募集をさせていただきます。

公立学校にお子さんが在籍する方は在籍する学校に提出していただき、各学校PTAが6月19日までに各所属の都道府県・郡・市・指定都市PTA連合会・協議会へ提出してください。

その他の場合(お子さんが私立学校や国立大学附属学校に所属する場合は、6月30日までに日本PTAへ提出してください)。

29年度も多くの素晴らしい作品との出会いを楽しみにしております。ご応募お待ちしております。



第65回日本PTA全国研究大会 第49回日本PTA東北ブロック研究大会 仙台大会

平成29年 **8/25** 金 **8/26** 土

分科会

全体会

近年の様々な社会情勢の変化は、子どもたちや子育て世代の家庭を取り巻く環境に、大きな影響をもたらしています。特に、いじめや不登校に係る対策、急速な情報化社会への対応、家庭や地域の教育力に関する問題などの課題が、次々と発生しています。次世代を担う子どもたちをより良い環境で育むため、様々な課題の本質や対策について真剣に議論すべき時が、今です。また、東日本大震災以降、全国から寄せられた多くのご支援に対する心からの感謝とともに、その後の復興の歩みもお伝えしてまいります。この仙台大会を、子どもたちの輝く未来のために、全国のPTA会員同士が学び合い、心をつなぎ、絆をより一層深める機会にしようではありませんか。

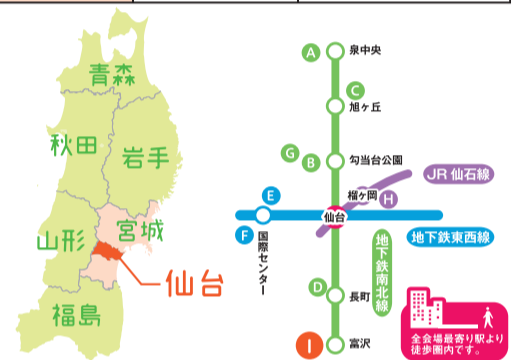
大会趣旨

大会スローガン

つながろうPTA! 子どもたちの輝く未来のために
～社の都発! みちのくの今を伝えたい 感謝の思いと確かな歩みとともに～

- 分科会：8月25日(金) 仙台市内10分科会会場 ●参加費 一人)5,000円
- 全体会：8月26日(土) カメイアリーナ仙台 ●参加者 全国小・中学校PTA会員及び教育関係者8,000人 (仙台市体育館)

分科会	内容・領域	会場施設名 最寄り駅
A 第1分科会	組織運営	仙台市東文化創造センター(イズミティ21)大ホール 地下鉄南北線 泉中央駅
B 第2分科会	家庭教育	東京エレクトロンホール宮城 地下鉄南北線 勾当台公園駅
C 第3分科会	学校教育	日立システムホール仙台シアターホール 地下鉄南北線 旭ヶ丘駅
D 第4分科会	広報活動	太白区文化センター美楽ホール 地下鉄南北線 長町駅
E 第5分科会	地域連携	仙台国際センター会議棟大ホール 地下鉄東西線 国際センター駅
F 第6分科会	人権教育	東北大学百年記念会館川内鉄ホール 地下鉄東西線 国際センター駅
G 第7分科会	環境教育	仙台国際センター展示棟展示室 地下鉄東西線 国際センター駅
H 第8分科会	健康安全	仙台市民会館大ホール 地下鉄南北線 勾当台公園駅
I 特別第1分科会	日本PTA担当	仙台サンプラザホール JR仙石線 榴ヶ岡駅
J 特別第2分科会	文部科学省協力	仙台国際センター展示棟展示室 地下鉄東西線 国際センター駅
K 全体会	つながろうPTA! 子どもたちの輝く未来のために	カメイアリーナ仙台(仙台市体育館) 地下鉄南北線 富沢駅



全体会記念講演 8/26 10:55~



三宅 宏実氏 ウェイトリフティング選手
ロンドンオリンピック48kg級銀メダル
リオデジャネイロオリンピック48kg級銅メダル
1985年生まれ。埼玉県出身。法政大学卒業。いちご(株)所属。中学3年の時、シドニーオリンピックを観たことをきっかけに競技を始める。2004年アテネオリンピックに初出場し9位。2008年北京オリンピック6位入賞。2012年ロンドンオリンピックで銀メダル獲得。女子ウェイトリフティング史上初のメダリストと同時に、日本オリンピック史上初となる父娘メダル達成。2016年リオデジャネイロオリンピックにて銅メダルを獲得し、2大会連続メダル達成。



三宅 義行氏 日本ウェイトリフティング協会会長
1945年生まれ。宮城県出身。いちご(株)所属。1968年にメキシコシティ五輪重量挙げフェザー級で銅メダルを獲得し、兄義信とともに兄弟で表彰台に立つ。現役引退後は指導者として数多くの重量挙げ選手を育成し、日本重量挙げ界の発展に貢献。2016年リオデジャネイロ五輪では、ウェイトリフティング女子日本代表監督を務める。2016年9月より日本ウェイトリフティング協会会長に就任。

PTAを楽しむための本 新年度PTA活動応援!

新刊予約できます

Q. いじめ問題にPTAで取り組みたい

今すぐに取り組める! 家庭でできるいじめ防止ハンドブックです 研修等にご活用ください ※多数購入者には研修教本プレゼント

4月刊行予定

PTA 防災事例集

4月刊行予定

過去の災害から未来へつなぐ学びと教訓、全国のPTAが行う防災実践事例の二本立て

Q. 子ども達を守る為の知識と全国の防災への取り組みを知りたい

Q. 隣のPTAはどんな活動をしているの?

5月刊行予定

このPTAがすごい! PTA活動実践事例集

Q. そもそもPTAは何をするの? Q. 会長挨拶何を言えばいいの? Q. 文書の作りかたがわからない!

PTA活動に必要な全ての知識を凝縮! 今すぐ役立つPTA応援マニュアル

¥1,700(税別)

PTAの困った! を解決します

Q. 勉強会・研修会でスマホ・インターネット、家庭教育についてとりあげたい

子どもとメディア、教育に関する意識調査を全国規模で実施 子ども達を取り巻く環境が数字で紐解けます

各¥1,200(税別)

Q. 今の時代に合わせたPTA運営がしたい

時代に即した活動をされる全国のPTA活動をご紹介します! 組織運営の参考になります

PTA90事例

¥1,500(税別)

Q. なぜPTA活動をするの? という疑問に答える根拠が欲しい

運営に必要な基礎知識・PTAに関する法令などを網羅 新入学の説明会等にもご活用ください

Let's PTA研修 基本マニュアル

¥1,500(税別)

Q. 広報紙をよりいいものにしたい

全国の優秀な広報紙をカラーページで紹介! 広報紙の作り方ページもあります

紙優秀品集

¥1,200(税別)

全ての本のお申し込みは 日本PTAホームページからどうぞ <http://www.nippon-pta.or.jp/>

